

## GL アクティブ（国内研修）実施講座名 『模擬国連合同練習会』

- 1 目的 時事問題に関する国連形式の会議を通して、異なる立場からリサーチ・立案・交渉・提案等の活動に取り組むことにより、論理的思考力、批判的思考力、コミュニケーション能力を高める。また、時事問題に対する意識を高め、研究課題を見つける一助とする。
- 2 日時 平成28年7月31日（日）、8月1日 午前9時30分～午後4時00分
- 3 参加生徒 3名（1年）
- 4 場所 かえつ有明中高等学校
- 5 内容 国連安全保障理事会の改革会議  
模擬国連とは参加生徒が各国の大使になりきって、その国の立場から模擬会議で提案・交渉・決議案の作成等を行うものである。  
今回は初心者への参加も多いとのこと配慮から、会議前に事前講習が行われた。高校生による議長、ディレクターから模擬国連の進め方について説明があった。  
その後、国連安全保障理事会の改革案についての会議を開始した。最初に各国大使が安全保障理事会の常任理事国・非常に理事国の議席拡大、常任理事国の拒否権、安全保障理事会の透明性についての立場を表明し、立場に近い国同士で交渉しながら決議案が作成された。本校の生徒はチェコ共和国の大使役として参加し、チェコの立場から改革案を提案した。



チェコの大使として東欧の非常任理事国議席拡大を英語のスピーチの中で提案しました。



参加者で記念写真

## 6 成果と課題

国連安全保障理事会改革というトピックをチェコという異なる立場からリサーチ、分析し、提案するという活動は、課題研究を進める上で必要な論理的思考力、批判的思考力、コミュニケーション能力を養う機会になったようだ。今後はこのような活動に参加する生徒数を増やし、それらの能力育成にあたりたい。